平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　花月園観光株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9674　　URL　http://www.kagetsuenkanko.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）松尾 嘉之輔
問合せ先責任者（役職名）総務部長　（氏名）堤 道雄　TEL 045-228-8860
四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	468	—	△50	—	△131	—	△245	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益　24年3月期第2四半期　△244百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　—百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.94	—
23年3月期第2四半期	—	—

（注）平成23年3月期第2四半期につきましては、四半期財務諸表を作成し、四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,883	604	32.1	34.36
23年3月期	4,943	848	17.2	48.25

（参考）自己資本　24年3月期第2四半期　604百万円　23年3月期　848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—			
24年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
平成24年3月期第3四半期より非連結となるため、表示しておりません。通期業績予想は、平成23年11月10日に公表の、「特別損益の発生並びに連結業績予想の修正及び個別業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	17,666,000 株	23年3月期	17,666,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	77,969 株	23年3月期	77,569 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	17,588,288 株	23年3月期2Q	17,591,413 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、平成24年３月期第３四半期より非連結となります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）四半期連結損益計算書関係 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループ（当社及び連結子会社）は、前第２四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や未だ終息の目途がつかない福島第一原子力発電所事故による不安、さらにデフレや急激な円高の進行により、経済活動が大幅に落ち込み、景気の先行き不透明感が高まる結果となりました。当社グループの営業基盤であります東北地方は、ライフラインの復旧や物流の回復等、経済活動の正常化に向けた動きも広がっておりますが、経済環境は依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況のもとで、当社グループは、岩手県花巻市のサテライト石鳥谷、子会社の㈱サテライト横浜、業務受託しているサテライト水戸の営業は再開しておりますが、福島県南相馬市のサテライトかしまの施設は、震災復旧のために派遣された自衛隊の駐屯所として６月末まで施設を提供し、未だに営業再開が遅れております。地元からの強い営業再開の要望もありますが、福島第一原子力発電所事故の影響等により再開の目処が立たない状況であります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、３月の震災の影響が大きく、業績は大きく落ち込み４億６千８百万円となりました。営業損失は５千万円、経常損失は借地権認定訴訟の費用、支払利息等があり１億３千１百万円、四半期純損失は、２億４千５百万円となりました。これは、特別利益として受取和解金10億円（神奈川県に対する借地権確認請求訴訟の和解金）、債務免除益３億４千１百万円（神奈川県競輪組合に対する損失補填額の減免）、受取補償金３億５千１百万円（選手宿舎賃貸借契約の違約金）がありましたが、特別損失として固定資産売却損９億９千５百万円、減損損失７億８千８百万円、災害損失２千万円等があったことによるものです。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は２億８千７百万円となり前連結会計期間末に比べ９千２百万円減少いたしました。これは主に固定資産税の仮払金が１千８百万円、売掛金が２千８百万円増加しましたが、現金及び預金が１億３千１百万円減少したことによるものであります。固定資産は15億９千５百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億６千６百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が27億５千９百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18億８千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億６千万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は10億２千５百万円となり前連結会計期間末に比べ19億６千８百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が９億５百万円、１年内返済予定長期借入金が５億７千４百万円、未払金が４億６千６百万円減少したことによるものであります。固定負債は２億５千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億４千７百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が３億８千９百万円、長期借入金が４億３千４百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、12億７千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億１千５百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は６億４百万円となり、前連結会計期間末に比べ２億４千４百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失２億４千５百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.1％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、連結子会社であった株式会社サテライト横浜の全株式を譲渡したため、連結業績予想はなくなりました。

個別業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表の「特別損益の発生並びに連結業績予想の修正及び個別業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第２四半期連結累計期間において、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響で、競輪開催の一部中止及びサテライトかしまの営業中止が続いており、前連結会計年度から引き続き50,358千円の営業損失を計上しております。また、流動資産287,937千円に対して短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金は780,000千円であり、今後の資金繰り等への影響が懸念される状況にあります。

これらの状況から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該事象等を解消し又は改善すべく、金融機関から新たな長期借入を行い、平成23年11月７日に子会社サテライト横浜の全株式を譲渡し、借入金の大部分を返済するとともに、サテライトかしまの年度内の再開、サテライト横浜の業務受託の継続により、業績の改善を図る予定であります。また、サテライト横浜の株式については５年以内に買戻しできる権利を有しております。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,026	129,236
売掛金	83,528	112,087
その他	36,066	46,613
流動資産合計	380,621	287,937
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,003,782	482,600
構築物（純額）	393,036	23,269
機械及び装置（純額）	1,271	1,059
車両運搬具（純額）	105	92
工具、器具及び備品（純額）	2,203	1,472
土地	1,310,339	443,206
有形固定資産合計	3,710,737	951,701
無形固定資産		
のれん	582,368	422,057
その他	18,299	9,672
無形固定資産合計	600,668	431,730
投資その他の資産	251,846	212,093
固定資産合計	4,563,252	1,595,525
資産合計	4,943,873	1,883,463

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,460	30,792
短期借入金	1,075,760	170,000
1年内返済予定の長期借入金	1,184,800	610,000
リース債務	29,840	29,840
未払金	637,631	170,655
未払法人税等	5,377	4,990
未払消費税等	5,978	80
前受金	181	181
預り金	34,872	8,456
その他	－	253
流動負債合計	2,993,902	1,025,250
固定負債		
長期借入金	479,400	45,000
リース債務	99,468	84,548
長期未払金	408,910	19,112
繰延税金負債	23,038	23,539
退職給付引当金	58,053	51,420
負ののれん	27,420	25,338
その他	5,000	5,000
固定負債合計	1,101,292	253,958
負債合計	4,095,195	1,279,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	△432,786	△677,937
自己株式	△9,721	△9,737
株主資本合計	840,441	595,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,237	8,978
その他の包括利益累計額合計	8,237	8,978
純資産合計	848,678	604,253
負債純資産合計	4,943,873	1,883,463

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	468,455
売上原価	342,853
売上総利益	125,602
販売費及び一般管理費	175,961
営業損失（△）	△50,358
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	851
負ののれん償却額	2,082
その他	2,344
営業外収益合計	5,294
営業外費用	
支払利息	45,377
訴訟関連費用	30,090
減価償却費	3,574
租税公課	4,938
その他	2,595
営業外費用合計	86,576
経常損失（△）	△131,639
特別利益	
受取和解金	※1 1,000,000
債務免除益	※2 341,543
受取補償金	※3 351,000
特別利益合計	1,692,543
特別損失	
減損損失	788,951
固定資産売却損	995,095
災害による損失	20,398
特別損失合計	1,804,444
税金等調整前四半期純損失（△）	△243,541
法人税等調整額	1,610
法人税等合計	1,610
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△245,151
四半期純損失（△）	△245,151

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△245,151
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	741
その他の包括利益合計	741
四半期包括利益	△244,409
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△244,409
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当社グループは、当第２四半期連結累計期間において、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響で、競輪開催の一部中止及びサテライトかしまの営業中止が続いており、前連結会計年度から引き続き50,358千円の営業損失を計上しております。また、流動資産287,937千円に対して短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金は780,000千円であり、今後の資金繰り等への影響が懸念される状況にあります。

これらの状況から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該事象等を解消し又は改善すべく、金融機関から新たな長期借入を行い、平成23年11月７日に子会社サテライト横浜の全株式を譲渡し、借入金の大部分を返済するとともに、サテライトかしまの年度内の再開、サテライト横浜の業務受託の継続により、業績の改善を図る予定であります。また、サテライト横浜の株式については５年以内に買戻しできる権利を有しております。

しかし、サテライトかしまについては対応策を関係者と協議中であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

（４）四半期連結損益計算書関係

※１.受取和解金の内容

神奈川県に対する借地権確認請求訴訟の和解金　1,000,000千円

なお、詳細につきましては平成23年４月５日発表の「和解による訴訟の解決に関するお知らせ」をご覧ください。

※２.債務免除益の内容

神奈川県競輪組合に対する損失補填額の減免　341,543千円

なお、詳細につきましては平成23年５月10日発表の「損失補填の減免に関するお知らせ」をご覧ください。

※３.受取補償金の内容

神奈川県競輪組合と締結した「花月園競輪選手宿舎賃貸借契約」の違約金収入　351,000千円

なお、詳細につきましては平成23年５月10日発表の「損失補填の減免に関するお知らせ」をご覧ください。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当社は、下記のとおり平成23年11月７日に連結子会社である株式会社サテライト横浜の全株式を譲渡いたしました。

(1)株式譲渡の理由

当社グループは、主たる事業所であった花月園競輪場での競輪開催の廃止に伴い、平成22年10月29日付をもって、関連会社である株式会社サテライト横浜の株式を追加取得することにより完全子会社化を果たし、花月園競輪廃止後の中核事業所として位置づけ、業績回復にグループ一丸となって取り組んでまいりましたが、本年３月11日に発生した東日本大震災により、当社グループ関連のサテライト３ヶ所が被災し、復旧工事に伴う　特別損失の計上や、福島第一原子力発電所事故の影響から、主力事業所である南相馬市所在のサテライトかしまが未だ営業再開を果せないなど、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、事業基盤の安定化と有利子負債の圧縮を図るため、５年以内の株式の買戻しを条件として、株式会社サテライト横浜の全株式を譲渡することといたしました。

(2)異動する子会社の概要

①商号　　株式会社サテライト横浜
②本店所在地　　神奈川県横浜市中区桜木町一丁目１番地
③代表者　　代表取締役　松尾嘉之輔
④事業内容　　競輪専用場外車券売場の施設賃貸及びその運営受託
⑤資本金　　80,000千円
⑥設立年月日　　平成16年２月19日
⑦株主構成　　花月園観光株式会社　100.0％
⑧当社との関係　資本関係　当社は100.0％の出資を行っております。
　　人的関係　当社役員及び従業員が、当該会社の役員を兼務しております。
　　取引関係　当社は当該会社から、競輪専用場外車券売場施設の維持・運営管理業務を受託しております。

⑨当該会社の最近３年間の経営成績及び財政状態　　単位：千円

決算期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
純資産	48,031	22,689	73,559
総資産	425,632	421,969	335,846
１株当たり純資産(円)	6,003.93	2,836.22	9,194.98
売上高	800,016	747,611	813,455
営業利益	△20,191	△15,834	58,973
経常利益	△32,413	△25,161	51,050
当期純利益	△32,631	△25,341	50,870
１株当たり当期純利益(円)	△4,078.89	△3,167.71	6,358.76
１株当たり配当金(円)	―	―	―

(3)　譲渡先の概要

①商号　　株式会社アーキテクトエム
②本店所在地　　神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央四丁目26番２号
③代表者　　代表取締役社長　塚本　征紀
④事業内容　　建築工事の設計、施工及び監理他
⑤資本金　　１百万円
⑥設立年月日　　平成19年７月25日
⑦純資産　　△４百万円
⑧総資産　　３百万円
⑨大株主及び持株比率
　　松尾工務店株式会社　　100.0％

⑩当社との関係　資本関係　　該当事項はありません。
　　人的関係　　該当事項はありません。
　　取引関係　　該当事項はありません。
　　関連当事者への該当状況
　　当社のその他の関係会社である株式会社松尾工務店の完全子会社であるため、該当しております。

(4)　譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況
①異動前の所有株式数　　8,000株（所有割合100.0%）
②譲渡株式数　　8,000株（譲渡価額500,000千円）
③異動後の所有株式数　　0株（所有割合0.0%）

(5)　譲渡の日程
平成23年10月25日　　当社取締役会決議日
平成23年11月７日　　株式譲渡、買戻し契約締結日
平成23年11月７日　　株式譲渡日

(6) 当該事象の連結損益に与える影響額
帳簿価額と譲渡価額の差額128,729千円を当第２四半期連結会計期間において減損損失として計上いたしました。

(7)　その他重要な特約等
５年以内に株式を買戻しする権利を有しております。